

事前評価書

1 事業名 特定農業用管水路特別対策事業	地区名・路線名等 本部田南地区
2 事業概要	
(1) 位置	愛西市、弥富市
(2) 規模・内容	用水路工 L = 12.6 km
(3) 事業期間	平成21年度から平成26年度
(4) 事業費	763百万円
3 必要性	
<p>本地区の用水路は昭和40年代に水田を対象にパイプライン化されていますが、当時は、経済性・施工性の観点から幹線部については石綿セメント管で施工されています。このような中、施設の老朽化に伴う破損等により、将来的に農業者等の健康を害する恐れが懸念されています。このことから、石綿セメント管を全て塩ビ管等に更新することにより、農業経営の安定を図るとともに、石綿に起因する影響を未然に防止する必要があります。</p>	
4 事業効果（費用対効果分析のある場合）	
(1) 評価期間	46年
(2) 基準年度	H20
(3) 基準年における総費用（C）	801,828千円
(4) 基準年における総便益（B）	816,695千円
(5) 便益の内訳	作物生産効果 維持管理費節減効果
(6) 費用対効果（B/C）	1.01
(7) その他	—
5 事業をめぐる社会情勢	
<p>石綿セメント管とは、石綿（アスベスト）繊維とセメントを原料とした管材で、昭和30年代から50年代にかけて農業用水のパイプライン工事に使用されました。しかしながら、近年、石綿粉塵の吸引により、呼吸器系の健康障害が発生するおそれがあるとされており、早急な対策が求められています。なお、石綿セメント管を通った水の水質については、特に問題ないとされています。</p>	
6 その他特記事項	
特になし	